

黒岩探訪

たんぼう

2

KUROIWA
くろいわ

高林城

こうりんじょう

四月九日高林城に登ってきました。

大人だと二十分もあれば学校から頂上まで登れます。

黒岩小に勤めるからには、早いうちに確認しておきたいと思っていました。頂上は標高二五九、五メートルです。校庭とはほぼ八十メートルの標高差があります。登ってみて気付いた素晴らしいことがあげてみます。一。地域の方々の手が入っていたこと。地域づくり協議会の方々の努力がよく分かります。二。とても見晴らしがよいところです。眺望が良くように整備中で、市内にもたくさんの中世の山城が残っています。妙義山がよく見えます。三。頂上で、田中地区の方々に目にかかりました。地元愛を感じました。四。中世の山城の様子がよく残っています。とくに曲輪（くるわ）堀切（ほりきり）の様子がよく分かれます。曲輪は造成して平地にした部分、堀切は人の移動を遮断するため切り通しにした部分のこ

五。とです。あたる部分でかわらけ（本丸）の焼きたたき（お皿）を見付けました。普通、このようにものを発掘調査して、外で見つけるときは、石の祠に添えてあり、お賽銭のように七円置いてあります。

真ん中にあることが分かりました。改め、地味の方にもこの存在を知ってもらいたいのと思いますので、「黒岩探訪」に載せました。

情報提供をお願いします

このお城が造られた時代を証明するものはありませんが、市内の他の山城と同様と考えると、中世末期の戦国時代、十六世紀の遺物と見受けました。私にはここで何らかの作業をして、ここに置いたのではないかと想像します。出土状況がはっきりすれば、高林城の時代的な説明に役立ちます。このかわらけ（お皿）がなぜここに置かれたか知っ

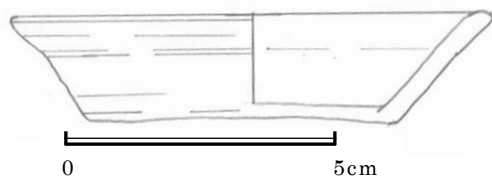


図 かわらけ実測図（フリーハンド）



写真2 かわらけとお賽銭？



写真1 頂上から西の妙義山を望む

ている方がおられましたら黒岩小までご一報をお願いいたします。